

母子の健康月間

2026年月7月7日（火）第1184回例会

〔本日の例会〕 会長方針／役員・理事挨拶／雑誌の日

〔次回例会予告〕 7月14日（火）クラブ協議会（決算・予算・委員長挨拶）

クラブ会長方針

2026-2027年度

高崎セントラルロータリークラブ

会長 林 高弘



国際ロータリー オンラインカ・ハキーム・ババロア会長は、Create Lasting Impact「持続可能なインパクトを生み出そう」をテーマに掲げました。

また2840地区の竹中隆ガバナーは「ロータリーを語ろう2.0+」を地区スローガンに掲げました。そして、語り合うキーワードは「“帰属意識” “インパクト” “ビジョン” “ミッション” “平和”」とされています。また「帰属意識から参加促進へ。インパクトとは。クラブのビジョン。会員それぞれのミッション。より深く、より熱く、ロータリーを語ってください。そして、我々の地域における活動がロータリーの最終目標である平和へと繋がるイメージを膨らませてみましょう。」と言い、さらに「“+”を加えたのは、語るから参加。参加を促すだけでなく、参加者の意識を変えられるよう働きかける。地域を巻き込む、地域への広がり意識する。これらへの展開を願ってのためです。」と言っています。

このようなガバナーのスローガン踏まえ、今年度の会長方針は「ロータリーを語り、ロータリーを理解し、インパクトのある奉仕活動に繋げよう」とさせていただきました。

会員相互がロータリーを語り合い、ロータリーへの理解を深めて、それを奉仕活動に繋げて、より良い奉仕活動ができるようにしたいと思い、このような会長方針とさせていただきました。ここで言うインパクトとは、奉仕活動を行った後に、持続性があるのか、何かに繋がるのか、どう変化するのかなど、結果を出した上で、そこからの広がり求めていることだと私は理解しました。

この会長方針を達成するために、以下のクラブ活動目標を掲げるとともに、充実した例会や奉仕活動を行えるようにしたいと思います。

1. 例会でロータリーを語る
2. 会員増強純増2名
3. 高崎南RCと高崎北RCとの合同地区補助金事業を行う
4. 高崎南RCインターアクトクラブと合同で街頭募金活動を行なう
5. 寄付目標1人あたり
ロータリー財団年次寄付 150ドル以上
ポリオプラス寄付 30ドル以上
米山記念奨学会寄付 16,000円以上

1年間よろしくお願いいたします。

例会場・事務局／ホテルグランビュウ高崎 高崎市柳川町70

TEL 027-310-7722 FAX 027-310-7733

E-mail takasaki-cent@rid2840.jp

例会／毎週火曜日 18時30分